

青垣地域の医療を支え続けて 22 年 久保田孝則医師が功績表彰を受賞

3月24日、へき地診療所の普及や発展、住民の健康増進に尽力したとして、青垣診療所で所長を務める久保田孝則医師が市長が職員を表彰する功績表彰を受賞しました。同診療所に勤務して約22年、青垣地域の医療を支えてきました。

久保田医師は「患者さんに共感することを大切にしてきた。これからも、できることをしっかりとやっていきたい」と力強く話しました。



市長から表彰状を受けとる久保田孝則医師

子どもの学びを深めるために 児童書を寄贈

3月24日、パナソニックライティングシステムズ労働組合春日支部が、春日図書館に児童書54冊を寄贈しました。同組合は平成21年以降毎年1回、図鑑や児童書を春日図書館に寄贈しています。

同組合の高島広平副支部執行委員長は「コロナ禍で増えた家で過ごす時間に、本を読んで心豊かな大人になってほしい」と話しました。



目録を手渡すパナソニックライティングシステムズ労働組合春日支部のみなさん

高校生による丹波の未来への架け橋プロジェクト 市民参加で丹波市をもっと有名に！



プロジェクト達成を林市長に報告した稲川詩音さん、谷垣香澄さん、酒井歩夢くん（左から）

昨年12月、丹波栗のモンブランをオンラインで同時に食べた人数でギネス世界記録を樹立した、市内3高校生の有志による企画「高校生が創る丹波の未来への架け橋プロジェクト」のメンバーが、3月23日、市長を表敬訪問し、ギネスワールドレコード社の認定証を贈りました。

訪れた3人は「皆さんの協力があったからこそ成功できた。企画を通じて自分たち自身も大きく成長することができた」と喜び、感謝の言葉を述べました。

有機農業などを学んだ 18 人の受講生が 農の学校を卒業



卒業証書を授与され、新たな門出に決意を述べる卒業生

3月18日、農の学校で農業栽培技術や農業経営などを1年間学んだ3期生の卒業式が行われました。18人の卒業生のうち9人が市内で就農し、地元の農業が活気づくことが期待されます。

受講生は「学校での学びや、つながりを大切に、これからも農業を頑張っていきたいです」と意気込みを語りました。



Special thanks

新型コロナウイルス感染症対策のため、皆様から様々な物品の寄贈や寄附金をいただきました。心から感謝申しあげます。
令和3年11月1日～令和4年3月31日寄贈分まで

- 令和4年1月24日
 - 物品 / 除菌ジース（次亜塩素酸水）
 - 寄贈者 / 株式会社オーケンウォーター 様
 - 用途 / 市内公共施設の消毒作業
- 令和4年1月31日
 - 物品 / ティッシュペーパー
 - 寄贈者 / 大伸急行有限会社・有限会社大伸観光 様
 - 用途 / 自宅療養者への食料品などの支援や生活困窮者支援施策などに活用
- 令和4年2月28日、令和4年3月14日
 - 物品 / ノートパソコン1台、ipad 4台
 - 寄贈者 / 公益社団法人 日本看護協会 様
 - 用途 / 看護専門学校の授業に使用

色鮮やかなひな人形が城下町の春を彩る 丹波がいばら雛めぐり開催

4月3日まで、柏原地域の店舗や公民館など11箇所で、江戸時代から平成までのひな人形を展示する「丹波かいばら雛めぐり」が開催されました。七段飾りやつるしびなに、厄をはらう「さるばば」の雛飾りが会場を鮮やかに彩りました。
来場者は「色鮮やかなつりびなや、部屋いっぱい飾られたひな人形に圧倒されました」と話しました。



会場のかいばら一番館に飾られたひな人形を眺める来場者

青垣小5年の足立くん、崇広小5年の大森くん ジュニアオリンピックカップ出場



林市長に健闘を誓う足立くん（左）と大森くん（右）

3月16日、青垣小学校5年の足立雄星くん、崇広小学校5年の大森龍乃介くんが、水泳の全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会への出場を報告するため、市長を表敬訪問しました。
足立雄星くんは「自分のベスト記録で上位進出を目指す」と意気込み、大森龍乃介くんも「得意の自由形で決勝を目指します」と大会での健闘を誓いました。

市内の間伐材を使用した丹波市発のキエーロ キエたん体験会を開催



キエたんの使用方法などについて説明する大地亜紀さん

4月3日、市民プラザで、消滅型生ごみ処理器「キエたん」の体験会が開催され、38名が参加しました。
キエーロを普及させようと情報発信してきた大地亜紀さんは「キエーロを使用して生ごみがほとんど出なくなった」と話し、^{ただし}キエたんを制作した平松区森林愛好会の伊藤忠嘉会長も「市の課題となっているごみ減量に貢献でき、森林の資源活用や保全にもつながる。SDGsの実践として、キエたんを普及したい」と話しました。